

# 地域ケア会議について

令和2年11月5日  
柏市地域包括支援課

# 本日説明する内容

1. 平成31年度（令和元年度）地域ケア推進会議での提言から政策形成に関する取り組み（報告）
2. 平成31年度（令和元年度）地域ケア会議の実施状況（報告）
3. 地域ケア会議の取り組み報告（北柏第2地域包括支援センター）
4. 政策形成に向けた課題整理
5. ご助言いただきたい課題

# 柏市における地域ケア会議の体系

個別課題  
解決機能

ネットワーク構築  
機能

地域づくり・資源  
開発機能

政策形成  
機能

## 【地域ケア個別会議】

- 地域包括支援センター主催
- 各センターで年4回以上開催
- 参加者：  
本人,家族,介護支援専門員,医療・介護の支援者,民生委員,支えあい推進員等地域関係者,その他関係機関
- 助言者：  
医師,歯科医師,薬剤師,看護師,リハビリ職,司法書士,弁護士等

## 【介護予防個別会議】

- 市主催
- 要支援1・2等のケアプランの検証,自立支援重度化防止
- 年間30回開催
- 参加者：  
担当ケアマネジャー,サービス提供事業者,地域包括支援センター職員
- 助言者：  
薬剤師,歯科衛生士,リハビリ職,管理栄養士,支えあい推進員

地域課題の把握

## 【地域ケア推進圏域会議】

- 地域包括支援センター主催
- 各センターで年1回以上開催
- 参加者：  
民生委員,支えあい推進員等地域関係者,介護関係者(ケアマネジャー,サービス事業者等)医療関係者(医師,看護師,リハビリ職等),その他関係機関(警察署,消防局,社会福祉協議会,消費生活センター等必要に応じて)

## 【地域ケア推進会議】 ※「地域包括支援センター運営協議会」 に位置づけ

- 市主催
- 年1回以上開催(必要に応じて)
- 参加者：  
運営協議会委員

計画策定等、施策への反映

1. 平成31年度（令和元年度）  
地域ケア推進会議での提言から  
政策形成に関する取り組み（報告）

## <ご助言をいただいた課題と検討内容>

### （課題）※平成30年度の課題抽出より

- 地域ケア会議や健康とくらしの調査等から、孤食による食欲低下や食事摂取量の減少、偏った食事により、低栄養となりフレイルの原因となっている。
- 通いの場の数は増えてきているが、食事を提供する通いの場は増えにくい傾向がある。

### （地域ケア推進会議でのご助言）

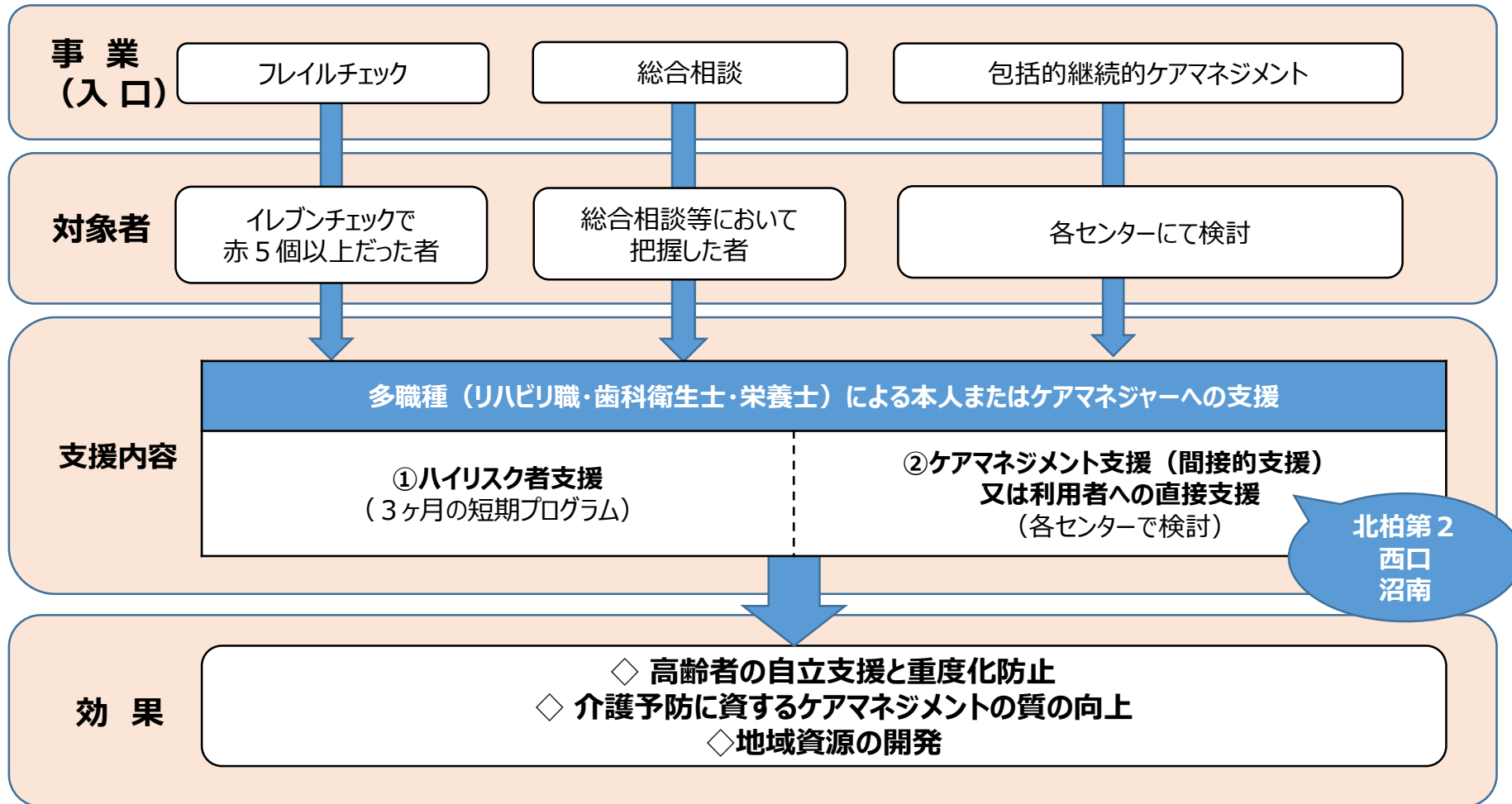
- 食事の管理が必要な高齢者が適切な食生活をおくるための支援策について**
  - ・ 薬剤師会が実施している薬管理等の出張相談の活用。
  - ・ **調理が簡単でバランスのよいメニューやレシピをケアマネやヘルパーから利用者へ紹介する。**
  - ・ 食事等で気軽に利用できる移動手段。
  - ・ **栄養士と連携した栄養管理。**
  - ・ **栄養士に相談できる窓口の周知活用。**
  - ・ **口の機能が低下してくると栄養の管理が難しくなるため、口腔内の確認が必要。**
- 孤食予防，共食の場づくりについて**
  - ・ サロンを立ち上げる上で、場所や人材の確保，費用の工面が課題。
  - ・ 男性の料理教室に繋げるなどの外に出られる環境づくり。
  - ・ 子ども食堂のような場所に高齢者でも行きやすくなる雰囲気づくり。



## <その後の取り組み>

- H31年度中 専門職の派遣とフレイルチェックのハイリスク者支援との連動について検討
- R2.9 各職能団体（リハビリ職・歯科衛生士・栄養士）への説明と派遣調整
- R2.10.1～ 多職種連携による自立支援及び重度化予防試行事業の開始
- R3年度～ 本格実施予定

# 多職種連携による自立支援及び重度化予防試行事業



## 2. 平成31年度（令和元年度） 地域ケア会議の実施状況（報告）

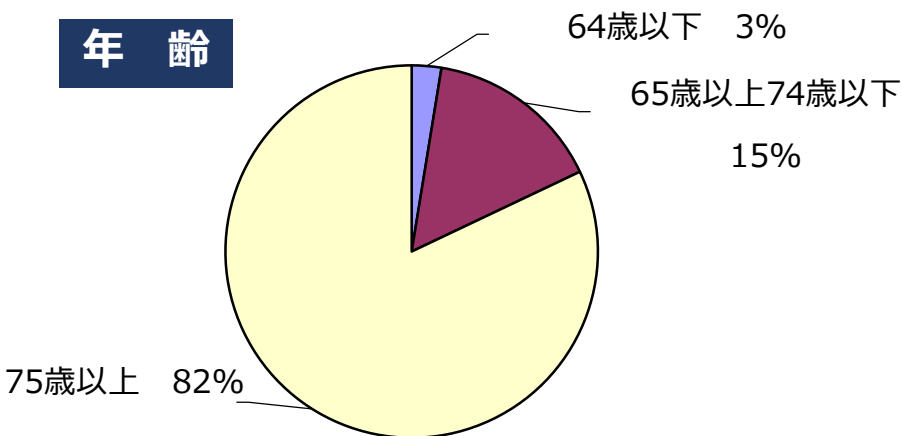
# 平成31年度実施状況

			実施回数	検討事例数	延べ参加者数
個別事例の検討	地域ケア個別会議	地域ケア個別会議 (地域包括支援センター主催)	39回	39件	364人
		介護予防個別会議 (柏市主催)	30回	119件	426人
地域課題の検討	地域ケア推進会議	地域ケア推進圏域会議 (地域包括支援センター主催)	7回	-	161人
		地域ケア推進会議 (柏市主催)	1回		25人

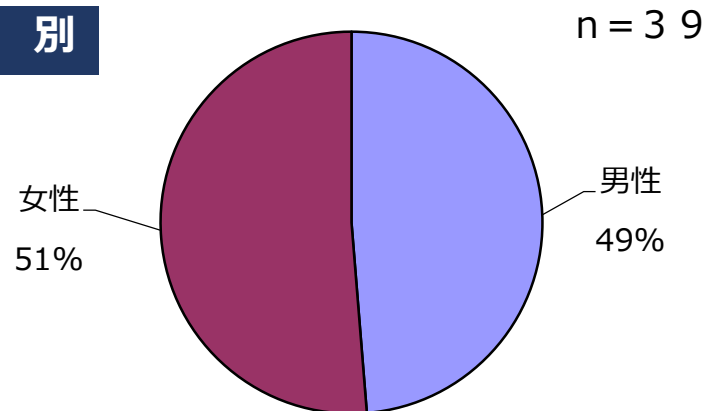


# 地域ケア個別会議での対象事例の状況（年齢・性別・世帯・介護保険認定）

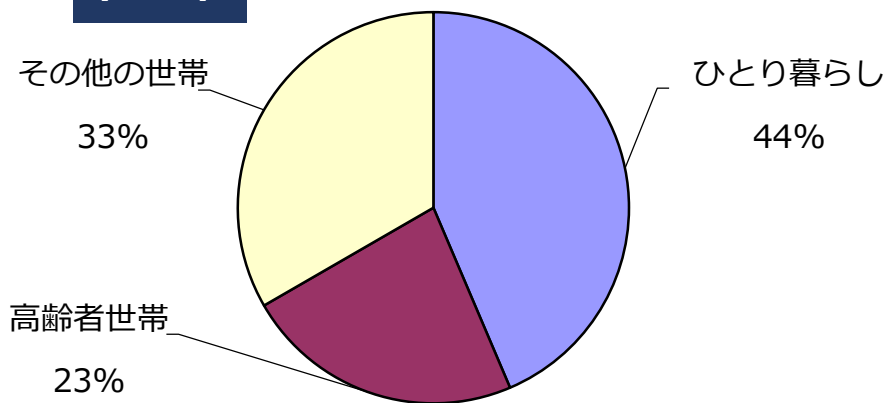
## 年齢



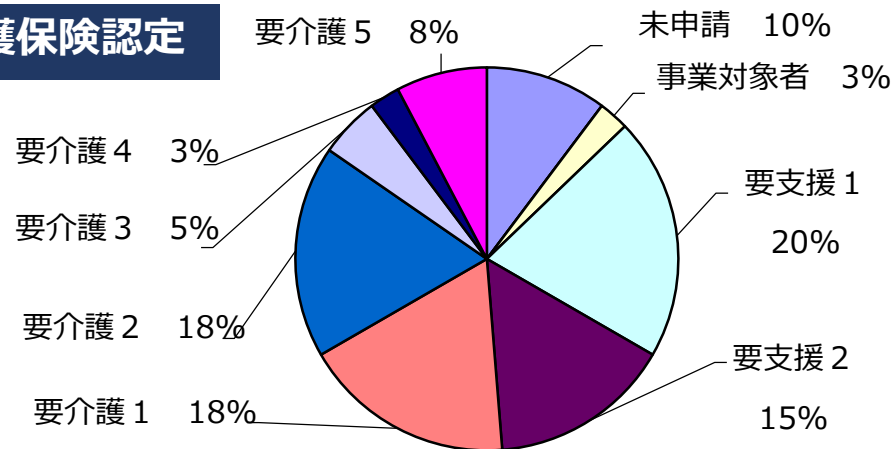
## 性別



## 世帯



## 介護保険認定



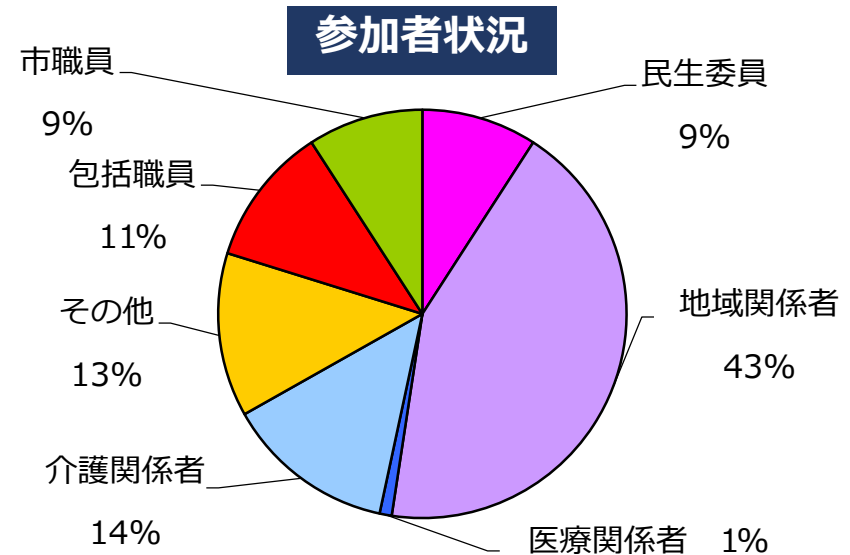
- 事例の年齢は75歳以上の後期高齢者が32人(82%)、性別は女性が20人(51%)であった。
- 世帯はひとり暮らしが17人(44%)と最も多く、次いで、子供や孫と同居しているその他の世帯が13人(33%)だった。
- 介護保険認定は、要支援1が20%と最も多く、次いで要介護1及び2が18%であった。

# 地域ケア個別会議から抽出された地域課題

地域課題	地域ケア個別会議 からの抽出数 A	介護予防個別会議 からの抽出数 B	合計抽出数 A + B
地域資源の不足	4	34	38
移動手段	2	13	15
地域との関係づくり	4	9	13
道路環境の問題	0	13	13
関係者間の連携不足	10	1	11
見守り体制	7	2	9
日常生活動作の低下・買い物や調理等家事が困難	3	5	8
栄養	0	5	5
家族の介護力や健康問題	3	0	3
支援拒否	3	0	3
地域の認知症に関する理解不足	3	0	3
ゴミだし・分別困難	1	1	2
支えあいの必要性の理解不足	2	0	2
家族の介護負担	2	0	2
制度の活用不足	2	0	2
意思決定支援	1	0	1
経済的困窮	1	0	1
閉じこもり	1	0	1
住宅環境の問題	0	1	1
8050問題	1	0	1
緊急時や災害時の連絡・支援体制	1	0	1
障害と介護の連携	1	0	1
ひとり暮らしの不安	1	0	1

# 地域ケア推進圏域会議の状況（参加者・検討内容）

包括	テーマ
柏北部	認知症共生社会に向けての地域の取り組みを考える（中止）
北柏	人と人がつながる為に必要なことを考える
北柏第2	松葉町地域の課題から、今後の支えあい・たすけあいの方向性を考える
	地域と地元の介護・障害事業所，商業施設が協力・連携した街づくりを目指す
柏西口	地域の困りごとを解決する～豊四季台地域さんあいネットワークとは～
柏西口第2	地域を知り，みんなでつながろう（中止）
柏東口	元気なうちから地域とつながろう（中止）
柏東口第2	支えあい活動につなげよう（中止）
光ヶ丘	地域の栄養課題について，地域関係者との情報共有及び意見交換（中止）
柏南部	介護者支援について考える
柏南部第2	高齢者の地域参加について考える
沼南	地域の助けあいサービス，通いの場を利用しよう（中止）



## 【参加者状況】

- 参加者は地域関係者（支えあい推進員やふるさと協議会等）が90人（43%）と最も多く，次いで介護関係者が28人（14%）であった。

## 【検討内容（地域課題）】

- ①地元地域の介護・障害事業所や商業施設と協働・連携
- ②地域の困りごとに対しての早期発見・早期対応をしていくためのネットワークの構築
- ③在宅介護者への負担軽減のための支援について  
…等

## 【今後の方針】

- ①商業施設を活用した介護予防事業への複数の事業所の参画の推進
- ②地域の各相談窓口間の連携体制の構築
- ③介護者を支えるためのオレンジフレンズの活動支援  
…等

### 3. 地域ケア会議の取り組み報告

北柏第2地域包括支援センター

## <日常生活圏域データ2019.10>

- ・**高齢化率(23.0%)** 柏市全20圏域中15位(柏市平均25.8%)
- ・**65歳以上要介護認定率(14.6%)** 柏市で15位(柏市平均15.7%)
- ・**85歳以上要介護認定率(59.9%)** 柏市で3位(柏市平均58.9%)
- ・**高齢者のみ世帯率(22.1%)** 柏市で15位(柏市平均25.2%)

## <JAGES調査>

- ・社会参加割合において，市全体に比べ低い項目が多い。
- ・閉じこもり者割合が市全体に比べ高い。

## <その他>

- ・東西に横長の地形で，横断する交通・移動手段がない。
- ・町会，自治会ごとの独立，独自色が強い。



- ・市内では比較的若く要介護状態も低い地域だが，**後期高齢以降は急速に要介護認定率が上昇**。（支えあいやたすけあい活用より，介護保険等の公的サービスへの依存度が上昇）
- ・高齢者が交流，社会参加できる居場所が少ない。
- ・地域全体をまたぐ交通や移動手段がないことで，町会，自治会の独自色が更に強まり，**地域全体で参加の居場所づくりが進みにくい**。

## <日常生活圏域データ2019.10>

- ・**高齢化率(38.3%)** 柏市で最も高い(柏市平均25.8%)
- ・**65歳以上要介護認定率(11.8%)** 柏市で最も低い(柏市平均15.7%)
- ・**85歳以上要介護認定率(65.7%)** 柏市で最も高い(柏市平均58.9%)
- ・**高齢者のみ世帯率(35.3%)** 柏市で最も高い(柏市平均25.2%)
- ・2045年までに、地域の総人口が50%減の予測。

## <JAGES調査>

- ・社会参加割合において、市全体に比べ高い。
- ・幸福感のある者の割合が市全体に比べ低い。

## <その他>

- ・町会、自治会ごとの活動は活発だが、地域全体でのまとめ意識も高い。
- ・**エレベーターのない**4～5階建ての中層棟マンションが多く、高齢化が進むと外出が大変になる。



- ・前期高齢割合が高く、また介護予防や社会参加への意識も高いので、市内で高齢化率が最高ではあるが、要介護認定率は最低である。
- ・後期高齢以降は急速に要介護認定率が急上昇。(介護保険等の公的サービスへの依存度が上昇)
- ・建物構造上、将来ADL低下すると外出や買い物、交流が困難になる住民も多い。

	事例概要及び個別課題	抽出された地域課題
高田・松ヶ崎	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の男性と妻，次女，孫同居</li> <li>家族が受診させず，サービス利用時の体調面での不安が大きい。</li> <li>認知症高齢者が増えてきているが，認知症に対する地域の理解がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の人に対して，地域で見守り，サポートする体制づくりを。</li> </ul>
	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認知症状の男性と妻，長男同居</li> <li>ふらつきがあるが，1人で自転車で畑やコンビニ・八百屋等に外出しているが，事故やトラブルなどの不安がある。</li> <li>認知症状に対し本人が困っていない（自覚がない），家族像が不明なため，適切な介入が出来ない状況が続いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民同士が昔からの仲間を見守る地域性を活かし続ける。</li> <li>商業施設や商店等とも協働して高齢者を見守る体制づくりを。</li> <li>男性でも行きやすい居場所づくりの推進を。</li> </ul>

	事例概要及び個別課題	抽出された地域課題
松葉	③ <ul style="list-style-type: none"> <li>ADL低下した女性と長女（日中仕事で不在）の同居</li> <li>本人の希望する買い物のため自家用車が手放せない。</li> <li>現状の支援だけでは買い物が困難になることが予想される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が自立して生活するため<b>買い物難民にならない環境づくり</b>や支援を考える。</li> </ul>
	④ <ul style="list-style-type: none"> <li>双極性障害の女性と長女（精神疾患あるが受診が滞っている）同居</li> <li>精神不安の再燃の可能性がある。</li> <li>家庭内の様子を把握することが難しい。</li> <li>家族支援としての関わりを関係者間で継続する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>地域と専門職や関係機関が協力連携して、高齢者の異変や問題の早期発見、早期対応ができるネットワークづくりを。</b></li> </ul>



## 地域ケア個別会議

- 認知症の人に対して、**地域で見守り、サポートする体制づくり**を。
- 高齢者が自立して生活するため**買い物難民にならない環境づくり**や支援。
- 住民同士が昔からの仲間を**見守る地域性を活かし**続ける。
- **商業施設や商店等とも協働**で高齢者を見守る体制づくりを。
- **男性でも行きやすい居場所づくり**の推進を。
- **地域と専門職や関係機関が協力連携**して高齢者の異変や問題の**早期発見、早期対応**ができる**ネットワークづくり**を。

## 介護予防個別会議

- **居場所づくりの推進**が望まれている。
  - ・男性でも参加しやすい居場所があれば
  - ・知識教養を学べる（栄養講座など）場を
  - ・趣味活動（囲碁や将棋など）ができる場を
  - ・介護者同士で交流できる場も欲しい
- **たすけあい活動の充足**が望まれている。
  - ・高齢になっても活動の支え手になりたい
  - ・医療リスクのある疾患や障害があっても利用できるようになれば。
  - ・買い物や外出に困らないたすけあい活動があれば
- 住民誰もが気軽に利用できる**移動手段**がほしい。
  - ・買い物やサロンに行くためのコミュニティバスがあれば
  - ・町内循環バスなどがほしい

## 地域ケア推進圏域会議

### ● 高田・松ヶ崎地域（R1.10.19）

テーマ：地域と地元の介護・障害者事業所，商業施設等が協力・連携した街づくりを目指す

### ● 松葉地域（R2.2.13）

テーマ：松葉町地域の課題から，今後の支えあい・たすけあいの方向性を考える

# 地域ケア推進圏域会議開催当日の様子

## 高田・松ヶ崎地域



## 松葉町地域



## <参加メンバー>

支えあい推進員，町会・自治会長，見守りサポート活動者，自主防災組織，  
たすけあい活動者（町会・NPOなど），スポーツジムスタッフ，  
スーパー(マルエツ)店長，コンビニエンスストア店長，モラージュ柏支配人，  
介護事業所職員，ケアマネジャー，障害者支援施設職員，  
シニアクラブ連合会，青少年健全育成推進協議会，ふるさと協議会，  
民生委員，社会福祉協議会，近隣センター所長，健康づくり推進員，  
地域支援課，地域包括支援課など

## <会議で検討したこと>

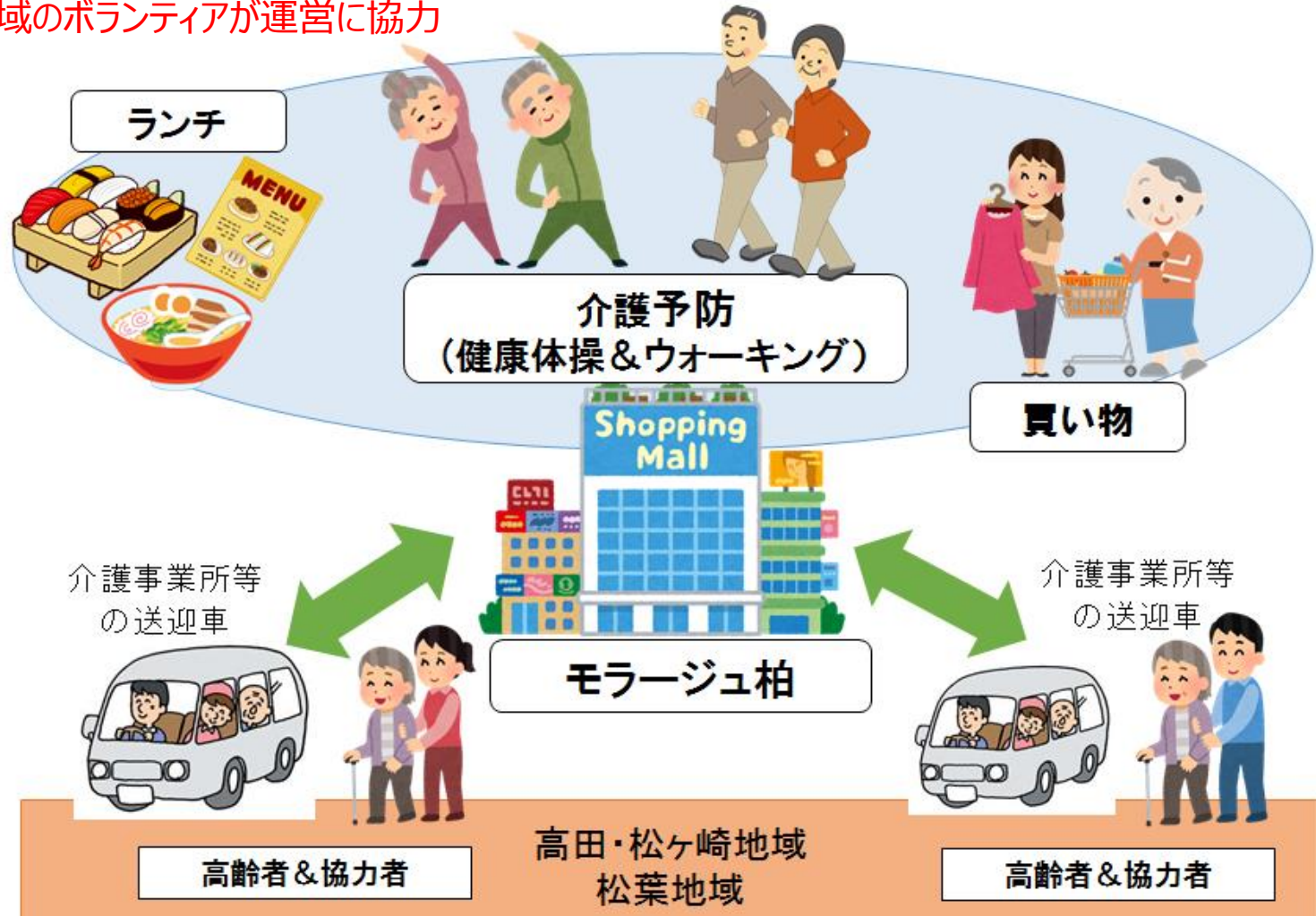
- 地域住民代表の参加者と介護・障害者事業所，商業施設等で**意見交換**。
- 各参加者間で互いの立場や役割理解，地域課題に対する取組の考えの**共有**。
- 地域と事業所，商業施設等が協力連携して地域づくりを進める関係**基礎づくり**。
- 双方で協力し合う支えあい・たすけあいの推進や街づくりに向けた具体案の**話し合い**。
- 支えあい・たすけあい活動の推進による，地域の高齢者を見守る**環境の充実**。

## <会議での検討結果，今後の提案や具体的案>

- ・介護事業所の送迎車を利用した移動，移送の協力
- ・防災訓練，イベントなどを地域と事業所，商業施設等で合同開催。緊急時の避難場所提供
- ・事業所，商業施設を利用した居場所の提供
- ・スーパーのイトインコーナーやオープンスペースを使って講座や教室の開催，居場所の提供
- ・事業所が地域住民向けの勉強会や健康教室の開催，サロンなどへ出向いて講師役で協力
- ・施設，事業所で地域住民がボランティアやスタッフとして活躍できる機会を増やす。
- ・たすけあいによる買い物代行，店への注文援助など
- ・障害者施設利用者が就業訓練の一環で，スーパーやコンビニに注文した品を家に届ける。

## ○地域が協働して行なえる資源の開発に向けた取り組み 「モラージュオーク ほ♪ほ♪ほ♪」の実施

- ・モラージュ柏で介護予防（体操・ウォーキング），買い物や食事の機会を通して，**社会参加の促進・閉じこもりを予防**
- ・ショッピングモール（モラージュ柏）までの送迎を**介護事業所の送迎車が協力**
- ・地域のボランティアが**運営に協力**



## ○介護保険制度だけに頼らない，地元社会資源の活用による自立支援ケアマネジメントの促進

- ①地区別研修会にて，地域のたすけあい活動代表者とケアマネジャーとの関係づくりを実施
- ②圏域内の介護支援事業所への巡回訪問を実施。介護保険だけに頼らない，たすけあい活動などの地元の社会資源の活用を促した。
- ③市内のケアマネジャーへ「たすけあい活動・通いの場など地元の社会資源活用をケアプランへ位置づけているか」の意識度調査を実施



担当圏域内のケアマネジャーが，他圏域のケアマネジャーより  
自立支援ケアマネジメントの意識度が高くなった。

## ○たすけあい活動立ち上げ準備への協力支援

- ・町会や自治会のたすけあい活動立ち上げ時の準備会や勉強会などに助言者や講師役として参加



協力支援した町会のうち，2箇所のたすけあい活動が新たに立ち上がった。

## ○地域と事業所・商業施設間の繋がり，協力関係の維持が大切

### ①圏域内の全町会や自治会の定例会に，センターが年1回以上参加

- ・センターがたすけあい活動への支援協力（助言，講座や勉強会，介護事業所等との橋渡し）を行えることを説明する。
- ・町会や自治会単位での地域課題やたすけあいのニーズや希望などをヒアリングする。

### ②たすけあい活動と介護・障害者支援事業所，商業施設間での交流や話合いの機会の提供

- ・地域ケア推進圏域会議や支えあい会議
- ・事業所の交流スペースの活用 等

コロナ禍のため感染予防対策を講じながら実施していく

### ③支えあい推進員や生活体制整備事業との協働・連携

## ○地域住民と事業所，商業施設が協働して活動する機会の確保

### ①「モラージュウオークほ♪ほ♪ほ♪」の継続

R2年11月再開予定

### ②センター主催のフレイル予防事業等で，地域住民や事業所・商業施設が協働する活動機会（講座やイベント，交流場，居場所提供など）の考案と実現

### ③地域のサロンや居場所を継続するための協力・助言

- ・感染予防対策に関する助言
- ・センターの見守り下での開催

## 4. 政策形成に向けた課題整理

# 個別会議から抽出された地域課題（再掲）

地域課題	地域ケア個別会議 からの抽出数 A	介護予防個別会議 からの抽出数 B	合計抽出数 A+B
地域資源の不足	4	34	38
移動手段	2	13	15
地域との関係づくり	4	9	13
道路環境の問題	0	13	13
関係者間の連携不足	10	1	11
見守り体制	7	2	9
日常生活動作の低下・買い物や調理等家事が困難	3	5	8
栄養	0	5	5
家族の介護力や健康問題	3	0	3
支援拒否	3	0	3
地域の認知症に関する理解不足	3	0	3
ゴミだし・分別困難	1	1	2
支えあいの必要性の理解不足	2	0	2
家族の介護負担	2	0	2
制度の活用不足	2	0	2
意思決定支援	1	0	1
経済的困窮	1	0	1
閉じこもり	1	0	1
住宅環境の問題	0	1	1
8050問題	1	0	1
緊急時や災害時の連絡・支援体制	1	0	1
障害と介護の連携	1	0	1
ひとり暮らしの不安	1	0	1



## 地域資源の不足

- 徒歩圏内で通えるサロンが少ない
- 見守りができる（ある程度の頻度で開催している）サロン
- 本人の興味を引くようなサロン
- 誰でも気軽に入れるサロン
- 運動ができる場所
- 介護保険で改善した後の受け皿としての場
- 障害があっても通える場
- 男性が楽しめる集まりの場所
- 個人開催など小規模での地域での活動の把握が難しい
- 支えあい活動で、「支える側」の人がいない

## 移動手段

- 通いの場・買い物・近隣センター・医療機関受診等（自宅近隣ではあるが、自力ではいけない場所）の交通手段
- 外出が困難になった時の交通手段が、タクシーしかない
- 公共の交通手段がない
- ジャンボタクシーの乗り場まで行くのにも困っている。
- 車がないと生活の継続が難しいと訴え、免許返納が難しい

## 地域との関係づくり

- 住民同士の交流がない
- サービス付き高齢者住宅入居者と地域住民との関わり合いが少ない
- 施設に入ると、地域とのつながりは希薄になる
- マンション内での住民同士がつながる機会がない
- 家族や介護保険でサービス調整することで、地域との関わりが無くなる
- サロンに声をかけ、迎えに来てくれる人がいるとよい

# 健康とくらしの調査（JAGESデータ）から全国63市町村と柏市の比較

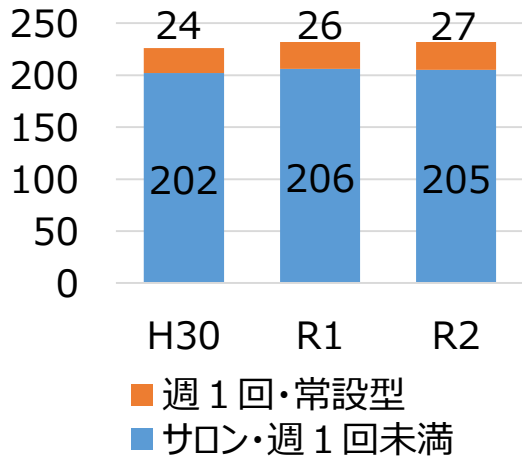
項目	柏市順位
非正式の社会化&社会参加がある者の割合	46位
老人クラブ参加者割合	41位
通いの場参加者割合	31位
1か月間友人・知人1人以上と会う者の割合	48位
個人および地域コミュニティレベルの社会的結びつきのある者の割合	38位
定期的に声かけ・訪問する人の割合	49位
子どもが1時間以内に住む割合	41位
定期的に声かけ・訪問してくれる割合	35位

地域の会に参加する割合は他市町村と比べ平均以下である。

友人・知人・地域での結びつきがある割合が他市と比べ低い。

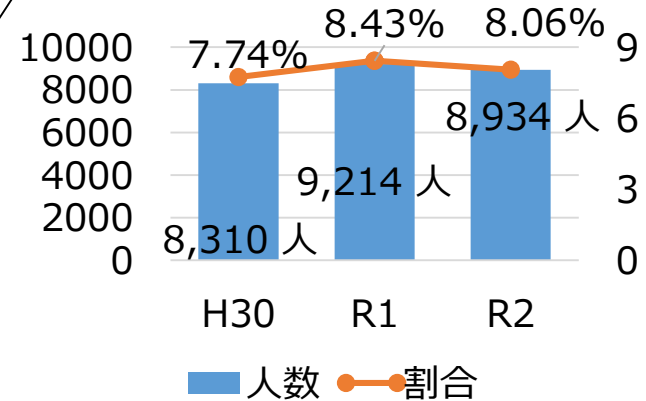
定期的な声かけ・訪問があるかたが他市と比べ少ない可能性がある。

## 【通いの場の数】



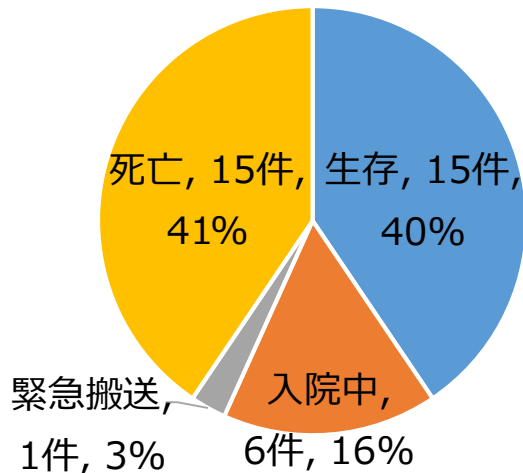
数年間で通いの場の数伸びは小さく、また、週1回・常設型の開催頻度が高い通いの場は、全体の1割程度と少ない。

## 【認知症自立度Ⅱa以上の かたの人数と割合】



見守りのニーズが高い認知症のかたの割合は年々増えており、H30～R2で600人程度増えている。

## 【安否確認の対応結果】



安否確認では、約4割が死亡しており、そのうち8割強のかたは介護認定がなく、支援を拒否していたり、地域との関わりがなく、民生委員の見守りのみであるかたが多かった。

- 定期的な開催ができ、本人のニーズに合った通いの場が少ない
- 介護保険サービス卒業後でも通え、運動ができる場所がない
- 見守りの必要性は高いが、地域同士の声かけ・見守りができる  
環境・仕組みがない
- 安価で利用できる交通手段がない

## 5. ご助言いただきたい内容

○ 民間企業と連携した居場所や見守りへの提案

○ 地域資源について把握している実情と課題

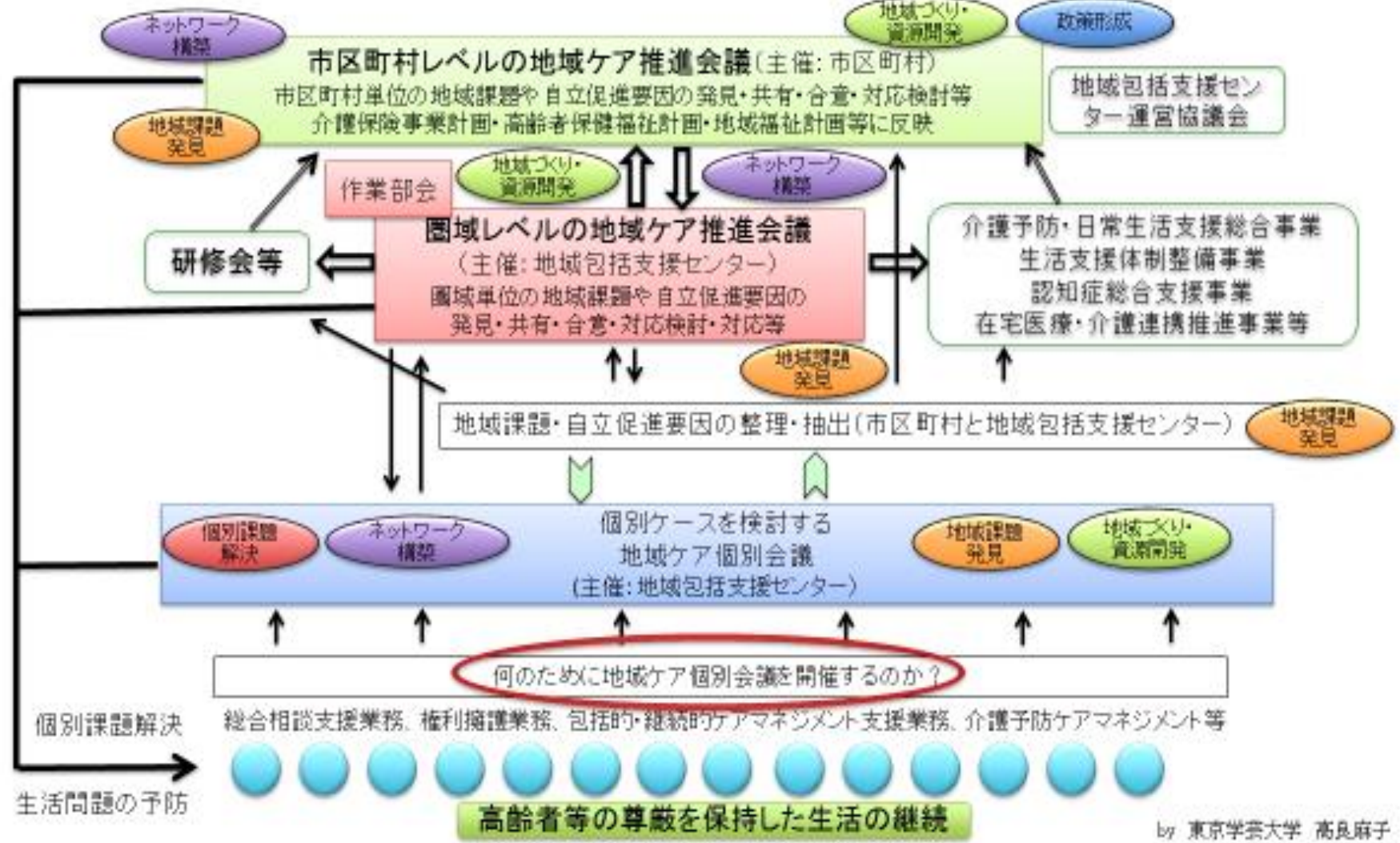
実際に行っている取組み

地域資源の活用状況 ……など

【介護保険法第 1 1 5 条の 4 8（会議）】

<p>実施主体</p>	<p>市，地域包括支援センター</p>
<p>目的</p>	<p>①支援が必要な被保険者への適切な支援の充実を図る ②地域において自立した日常生活を営むために必要な支援体制の検討</p>
<p>検討事項</p>	<p>①高齢者等の健康上及び生活上の課題の解決に資する支援の内容に関すること ②地域における介護の提供に携わる人や関係者の連携強化に関すること ③支援対象高齢者等に共通する課題の把握に関すること ④地域における介護の提供に必要な社会資源の改善および開発に関すること ⑤地域における自立した日常生活の支援のために必要な施策および事業に関すること</p>
<p>構成</p>	<p>・介護支援専門員，保健医療及び福祉に関する専門家，民生委員その他の関係者，関係機関及び関係団体等</p>

地域ケア会議の体系デザイン例



地域ケア会議は、高齢者個人に対する支援の充実とそれを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく、**地域包括ケアシステムの実現に向けた手法**であり、**会議を連動させる**ことで、地域包括ケアシステムの循環を創ることができる。